

粒状改良土の耐液状化性能

階級	結果	相当加速度	液状化実験結果
震度0	人体には感じない。地震計に記録される程度。	0～0.8ガル	
震度1	静止している人や、特に注意深い人のみが感じる。	0.8～2.5ガル	
震度2	大勢の人が感じる程度、戸障子がわずかに動く。	2.5～8.0ガル	
震度3	家屋が揺れ電灯などの吊下げものは相当揺れる。	8.0～25ガル	
震度4	家屋の揺れは相当激しく花瓶などは倒れ、多くの人は戸外に飛び出す。	25～80ガル	
震度5	壁に亀裂が走り、煙突・石垣等が破損する程度。	80～250ガル	液状化を起こした山砂 ⇒150ガル
	多くの人が強い恐怖を感じ、行動の支障を感じる。		
	棚に置いてある物、食器、本、テレビが落ちたり、家具が転倒したりする。		
	耐震性の低い家屋は壁、柱に破損を生じる。		
中程度の地震：普通は震度5でも80～100ガルが多い。			
震度6	家屋の倒壊は30%以下で多くの人は立っていることができない。	250～400ガル	
	固定していない重い家具がほとんど移動、転倒する。		
	耐震性の低い家屋は倒壊する。		
	極めて大きい地震(300～400ガル)の表現が該当。		
関東大震災：震度6 300～400ガル			
震度7	家屋の倒壊は30%以上で山崩れ・地割れ・断層を生ずる。	400ガル以上	液状化を起こした 粒状改良土 ⇒450ガル
	耐震性の高い家屋でも傾いたり、大きな破壊を受ける。		
	自分の意思では行動できないほど揺れる。		
	阪神淡路大震災：震度7 600～800ガル		